

都市構造可視化サイトの の活用に向けて



静岡県 静岡市 都市計画課

1. まずは、触ってみて、考えよう！

まずは、都市計画課内で実際に触ってみました。

課内の職員に触ってもらったところ、このような感想や意見がありました。



日常的に触っていることで、業務のヒントになるはず！

普段使いできれば、可能性はありそう。



可視化すると、市域の状況がわかる。



メッシュ単位を気軽に設定で変更したい。



市政パソコンでも閲覧したい！



2. 本研修のゴールを考えよう

活用に向けた課題を整理し、目標を設定しました。

都市構造可視化サイトの良さ

気軽に閲覧でき、操作が簡単ですぐ使える！

本市の課題

セキュリティの設定レベルが高く、Google Earthが閲覧できない
⇒活用したくても、市政パソコンでの閲覧ができない状況

本研修のゴール

日常の業務で気軽に利用できるシステム環境づくり

サイトの良さが
発揮できない

3. 庁内研修を実施しました。

技術職や事務職関係なく、可能性を探りました。



ここに道路を通したら、アクセスが良くなるよね！

技術職メイン

事務職メイン

2 課合同研修（道路計画課）

説明資料の中で可視化した図等があれば伝わりやすい！

庁内研修

4. インターンシップ研修

インターンシップの大学生にも触ってもらいました。



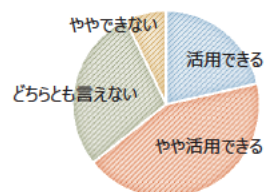
i-都市交流会議2020

5

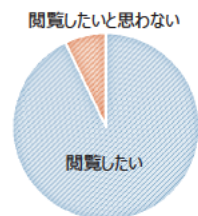
5. 意見総括

「活用できる！ 閲覧したい！」という人がほとんどでしたが・・・

☑ 活用できると実感した。(約65%)



☑ 市政パソコンでも閲覧したいと思う。(約93%)



その他意見

- 昔の状況を確認することができた。
- 数値データを地図データに落とし込むことで、直感的な考え方ができた。
- 従事する業務箇所が山間地で電子化が遅れているため、活用できない。
- AIを導入し、道路や橋ができた場合にどう変化するか等の機能があれば活用できる。

※庁内研修参加者アンケート結果より（50名）

i-都市交流会議2020

6

6.まとめ

市政パソコンで閲覧できる環境づくりは・・・？

本研修の課題

日常の業務で気軽に利用できるシステム環境づくり

管理部署の見解

Google Earth の必要性を感じないため、許可できない。

今後の予定

可視化サイトの身近な活用が業務のヒントになるので、
今後とも管理部署を協議し、市政パソコンでの閲覧を目指す。

業務改善

静岡市

都市の紹介

NIHONDAIRA YUME TERRACE 日本平 夢 テラス

施設概要 ご利用案内 イベント案内 お知らせ

文字サイズ 小 中 大

Language

屋外の展望回廊は、1周約200m、富士山や駿河湾、三保松原など、360度の「パノラマ展望」をお楽しみいただけます。



株式会社 隈研吾建築都市設計事務所による、県産木材をふんだんに使い、富士山を望む自然景観と調和した設計です。
隈氏は2020年、東京五輪のメイン会場となる新国立競技場の設計を手掛ける建築家です。